

第4回うりずんフェスタ印象記

理事 稲富 仁



第4回うりずんフェスタを令和7年2月9日に沖縄県医師会館にて開催した。うりずんの季節と呼ぶには寒すぎる気温であったが、最高人数を更新した昨年より約700人多い3,471人が来場された。準備時間には青空がのぞいていたが、開催時間直前に小雨が降りだしてしまい、屋外特設ステージでのオープニングセレモニーはカップ着用にて開催となった。セレモニーでは沖縄県医師会の田名毅会長、沖縄県保健医療介護部の糸数公部長、南風原町の赤嶺正之町長からご挨拶をいただいた。

10時半からは医師会館3階ホールにて、この会のメインイベントである県民向けイベントが行われた。今回のイベントは、かかりつけ医を中心とした医療連携体制を構築することの重要性を県民に広く伝えたいという趣旨で企画された。県民の皆さんに楽しみながら理解を深めてもらいたく思い、「お笑い・かかりつけ医」と題し、FEC オフィスと沖縄県医師会のコラ

ボレーションによる健康に関するコントを行った。共にMCを努めていただいたミキトニーこと糸数美樹さんとの掛け合いも会場を爆笑の渦に包んだ。後半には医師会メンバーも数名登壇してもらい、質疑応答タイムが繰り広げられた。当日まで空席があると寂しいなどと心配していたが、立ち見が出てしまう大盛況ぶりであった。事後アンケートでは、かかりつけ医に対する理解（よくわかった75名、わかった31名、あまりわからなかった1名、わからなかった1名）、かかりつけ医を持ちたい（既にいる25名、はい76名、いいえ3名、どちらでもない4名）という結果であった。その他の感想やご意見でも、“かかりつけ医の大切さがわかった”、“医療ネットワークの重要性がわかり登録したい”、“医療の問題が身近に感じた”、“#8000について初めて知った”、“沖縄県の救急搬送割合が全国一だと初めて知った”、“笑いが何よりの健康”、“コントによる説明が理解しやすかった”など

嬉しいコメントを多数いただいた。

また、医師会館屋内ではピーチフィットネスによる筋トレ指導、公益財団法人沖縄こどもの国による出張出前教室「ワンダータイム♪」の工作体験・サイエンスショーなど子供たちが楽しめるブース、そして、歯科医師会による Do チェック、国保連合会・市町村保健師による料理実演、栄養士会による食育 SAT システム、薬剤師会によるお薬相談会、次世代の健康教育推進事業の PR 動画、chichi nail (チャリティーネイル)、ボディペイント、名桜大学ヘルスサポートの皆さんによる健康測定、BRAVO アミューズメントスポーツ体験など充実した企画が行われていたが、午前中にはパラパラと雨模様で寒かったことも逆に良かったようで、どのブースにも沢山の方が参加され楽しまれていた。

今年も長寿県沖縄を奪還すべく、「定期的な血圧測定の重要性、異常値の際の対応の啓蒙」を多くの県民に広めるため、数か所に血圧計を設置し、異常値を示す方には保健指導を行った。今回は 623 人の方に血圧測定を受けていただいた。測定者の年齢内訳は 20 歳未満 36 名、20 代 58 名、30 代 194 名、40 代 175 名、50 代 81 名、60 代 40 名、70 代 23 名、80 代 4 名、ほか年齢不詳であり、働き盛り世代の方々も多かった。血圧測定の結果は正常血圧 404 名、Ⅰ度高血圧 148 名、Ⅱ度高血圧 58 名、Ⅲ度高血圧 13 名であり、必要な方には保健指導や医療機関受診を促すことが出来た。当日はかなり寒い中で屋外測定であったことを考慮しても、昨年より高血圧者が多いと思われる。

また、今回も屋外には厳選された 33 店舗に出店いただいた。ちょうどお昼頃には晴れ間も見え暖かくなってきた。スタッフ弁当が用意されていたが、それには手を付けず狙っていたアジアン弁当を完食し、コーヒーを楽しんだ。人気殺到で早々と売り切れになる店舗もあった。

午後からは天気も良くなり、屋外ステージにて健康作りに積極的に取り組む事業所や団体を表彰する「がんじゅうさびら表彰」表彰式が行われた。グランプリは事業所部門で琉信ハウジング、準グランプリは興南施設管理、東設計工房、地域活動部門は沖縄がん教育サポートセンター、準グランプリは諸見アッハッハ 88 クラブ、具志堅健康会であった。その後のステージイベントには昨年も大人気であった、アクトーズスクールによるダンスパフォーマンスや沖縄県立芸術大学による音楽生演奏、カラフルコーラスと続いた。最後は恒例のバネ人間さんの圧倒的なパフォーマンスで屋外特設ステージイベントを終えることが出来た。

さて今年のうりずんフェスタはとても寒く、雨天でのスタートであるにもかかわらず、過去最高の 3,471 名の参加であった。年齢別では 10 歳未満が最も多く、その次に親世代である 30 代・40 代の参加が多かった。沖縄県において最も健康について介入しなければならないと考えている「働き盛り世代」の方々の参加が多く、大変良いイベントになったと感じている。

これからももっと信頼され、そして親しみやすい医師会として、県民の皆様とともに長寿県沖縄の奪還を目指していきたい。



－ 会場の様子 －

